

オリジナルの工夫をしたリコーダーアンサンブルの発表会をしよう。

本題材で育成する資質・能力

コミュニケーションを行う力 進んで参加する態度

- 1 題材 アーティキュレーションを工夫してリコーダーアンサンブルをする。
- 2 学年・学級 第2学年4組（男子21名 女子18名 計39名）
- 3 題材の目標と題材設定の理由

題材の目標

○アーティキュレーションの変化による曲想の違いに興味をもち、グループで協力してアンサンブルの表現を工夫する。

本題材は、中学校学習指導要領の第2学年の「A表現」（2）の事項ア、ウ（イ）「器楽表現に関わる知識や技能を生かしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫し、それをもとに他者と合わせて演奏する技能を身につけること。」の内容に位置づけられる。

上記の目標と内容に基づき、本題材で、曲にふさわしい奏法を工夫し、グループでアンサンブルを創造する楽しさや喜びを体験させることをねらいとして設定した。

取り扱う楽曲の「ラヴァースコンチェルト」は歌唱教材としてもとりあつかっているため、メロディが覚えやすい曲である。また主旋律は順次振興の部分が多く運指が比較的容易であるため、苦手な生徒でもとりくみやすい。リコーダーは強弱の変化はつけにくい、アーティキュレーションのちがいにより多様な表現ができる。

生徒観

本学級の生徒は、おとなしいが物事に真面目に取り組むことができている。事前に実施したアンケートでは、9割を超える生徒が「音楽科の授業が好きである」と回答している。また、9割を超える生徒が歌唱に対して肯定的な評価をしている。しかし、器楽（アルトリコーダー）の演奏については6割の生徒が苦手であると回答している。読譜が苦手、指が思うように動かない、音がうまく出ないので無理だ」と感じている生徒が8割いる。これまで音楽科の授業で、アルトリコーダーで練習曲を使って「ド」～「ソ」の運指を習得し、簡単な旋律の創作を行った。

指導観

読譜が苦手な生徒には、既習プリントを参考にしながら階名を記入させておく。階名唱・解名唱をしながら指の練習・リコーダーで音を出す、を繰り返して出ている音と運指が一致するように練習させる。机間指導をしながら息の入れ方、姿勢なども個人指導もしている。

指導にあたってはアーティキュレーションのちがう演奏を聴きそれぞれの特徴を感じ取らせ、曲想にふさわしい音楽表現を考えさせる。そしてグループで意見を交流しながら協力して表現の工夫に取り組み、アンサンブル活動の楽しさを体験させたい。まとめとして発表会でお互いの演奏を評価する活動を行う。

4 本題材で身に付けたい資質・能力

○グループで協力して、器楽アンサンブルの表現の工夫ができる。
【コミュニケーションを行う力】

○器楽アンサンブルをすることに自主的主体的に取り組んでいる。
【進んで参加する態度】

5 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 学びに向かう力 |
|---|--|--|
| ○アーティキュレーションの違いによる曲想を感じ取り、その創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や他者と合わせて演奏する技能を身につけている。 | ○他者と協力しながら、曲にふさわしいアーティキュレーションを活用して音楽表現を創意工夫することができる。 | ○アーティキュレーションの工夫による曲想の違いに興味を持ち主体的に表現活動に取り組み協力してアンサンブルをしている。 |

6 題材の指導計画

| 時間 | 1 | 2 (本時) | 3 |
|---------------------|---|--|--|
| 題材 | オリジナルの工夫をしたリコーダーアンサンブルの発表会をしよう。 | | |
| 資質・能力 | <p>○グループで協力して、器楽アンサンブルの表現の工夫ができる。 【コミュニケーションを行う力】</p> <p>○器楽アンサンブルをすることに自主的・主体的に取り組んでいる。 【進んで参加する態度】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">ワークシートの工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">少人数班によるグループワーク</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">発表会での生徒による相互評価</div> </div> | | |
| 学習過程 | <p>課題設定(1)</p> <p>オリジナルの工夫をしたリコーダーアンサンブルの発表会をしよう。</p> <p>情報の収集</p> | <p>整理・分析・創造</p> <p>それぞれのパートをふけるようになって、曲にふさわしいアーティキュレーションを考えよう。</p> | <p>創造・表現</p> <p>発表会でそれぞれのグループの表現を聴きあおう</p> <p>題材の振り返り</p> |
| 生徒の活動 | 活動への意欲 | グループで交流・練習しながらアンサンブルを仕上げる | 発表会 |
| 知識・技能 | <p>アーティキュレーションの違いによる曲想を感じ取り、その創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や他者と合わせて演奏する技能を身につけている。</p> | | |
| 思考力・判断力・表現力 | <p>他者と協力しながら、曲にふさわしいアーティキュレーションを活用して音楽表現を創意工夫することができる。</p> | | |
| 学びに向かう力 | <p>アーティキュレーションの工夫による曲想の違いに興味を持ち主体的に表現活動に取り組み協力してアンサンブルをしている。</p> | | |
| 主体的な学びを創造するための指導の視点 | <p>○アーティキュレーションを3パターン示し、教師が演奏して聴かせて考えるヒントにします。</p> | <p>○それぞれのパートを複数にすることで、グループの中で苦手な生徒への生徒同士の支援ができます。</p> | <p>○お互いの作品を鑑賞し、共感的な場となるようにします。</p> <p>○器楽への興味を高め、これからの音楽の学習に対する意欲につなげます。</p> |

7 本時の学習（2時間目）

(1) 本時の目標

グループで協力して曲にふさわしいアーティキュレーションを工夫してアンサンブルをまとめる。

【コミュニケーション能力】

(2) 本時の学習展開

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て) | 評価規準 (評価方法) |
|--|--|--|--|
| 導入 | 1 前時の復習 | ◇全体でそれぞれのパートを演奏する。 | |
| | 2 本時のめあてを知る。 | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> それぞれが工夫したアーティキュレーションを交流しあって、 グループでアンサンブルをまとめよう。 </div> | | | |
| 展開 | 3 前時に考えた個人の工夫した表現をグループで聴きあう。 | ◇ひとりずつ演奏して、聴き合い交流する。 ◆できた部分だけでもよいことを示し、苦手な生徒も参加しやすい雰囲気をつくる。 | 主体的に活動している。 (行動観察) 表現力(ワークシート) |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">言語活動の充実</div> | | |
| | 4 グループで奏法を試しながら、アンサンブルをまとめる。 | ◇話し合ったことは必ず音に出して試行錯誤しながら作品をまとめていくことを助言する。 ◇音が重なって進行するところは、同じ奏法にするとそろって聴こえることを助言する。 ◆リコーダーの演奏が苦手な生徒は、同じパートの生徒が支援するように促す。 ◇工夫したところをワークシートにまとめる。 | |
| | 5 まとめの演奏をする。 | | |
| まとめ | 6 次時は全体で発表会をすることを知らせる。 | ◇次時はグループごとに発表することを告げる。 | |

8 本時の板書計画

本時のめあて

アーティキュレーションのイメージ図

振り返り